そつえん
おめでとう

~そつえんされる、みんなへ~

そつえん、おめでとうございます。
このえほんは、ふらのしないのボランティアのみなさんと、おたのしみげきじょうガウチョスさんときょうりょくしてつくられたえほんです。
そつえんされる、みんなによろこんでもらいたくて、つくりました。
たいせつによんでくれるとうれしいです。
おもいやりのある、やさしいおとなになってください。

しゃかいふくしほうじん　ふらのししゃかいふくしきょうぎかい
社会福祉法人　富良野市社会福祉協議会
かいちょう　こ　だま　まさ　おみ
会長　小　玉　將　臣

こんにちは、ドルチェ

ぶん．ふみちゃん
え．たなかみよし

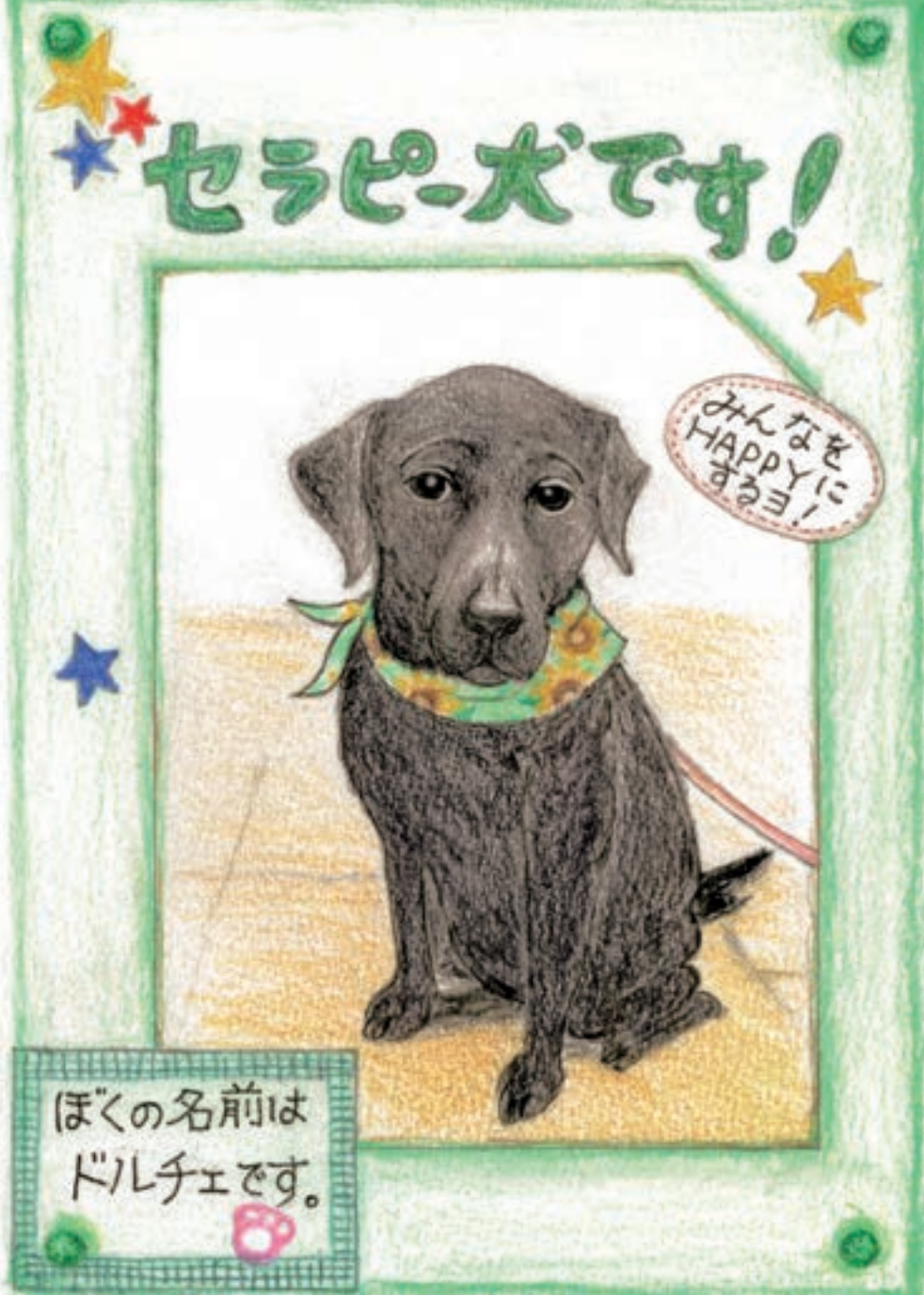
ぼくの　なまえは、ドルチェ。
おとうさんは、エルム。
おかあさんは、カーラ。

ぼくは、盲導犬(もうどうけん)として、うまれたよ。
盲導犬(もうどうけん)は、目(め)が　不自由(ふじゆう)なひとを　たすける
しごとなんだよ。

3さいのとき、ぼくは　目(め)のびょうきに
なって、盲導犬(もうどうけん)の　しごとが、できなく
なったんだ。

あたらしい　しごとが、みつかったよ！

ぼくは、セラピー犬として　はたらくんだ。
セラピー犬は、みんなを　しあわせにする
しごとなんだよ。



そして、ぼくに　あたらしい
おとうさんと　おかあさん、
おにいちゃんが、できたんだ。

ぼくは、おとうさんと　いっしょに、しごとに　いくよ。
ぼくは、ワンワンほえない、おりこうさんなんだ。

「おとうさん、きょうも　あついですね」
「ぼく、あついの　きらいです」
「くるまにのって、しごとに　いきませんか？」

ふゆは　だいすき。
「おとうさん、ゆきが　とっても、
きもちいいですよ」

セラピー犬(けん)は、おおいそがし。
おじいちゃん　おばあちゃん　だいすき。

みんな、ぼくを　なでてくれる。
「こっちに　おいで」って、よんでくれる。
みんな　えがおで、ぼくはうれしいんだ。

きょうも　ぼくは、おおいそがし。

こどもたちと「ぼきん」かつどうの
おしごとだよ。

ぼくは、ふうせんが　きらいです。
「おねがいだから、ふうせんを
ちかづけないで」

赤い羽根
募金
赤い羽根
募金

ひるねが　だいすき。
おやつが　だいすき。
とくに　りんごが　だいすき。

みんなのことが　だいすき。 ともだちも　いっぱい　できたよ。
わんぱく「みずほ」、おっとり「ラヴちゃん」、こわがりやの「ヴァンちゃん」。

あるひ、あしが　びょうきになって、あるけなく　なったんだ。

ごはんを　たべても　なおらないんだ。

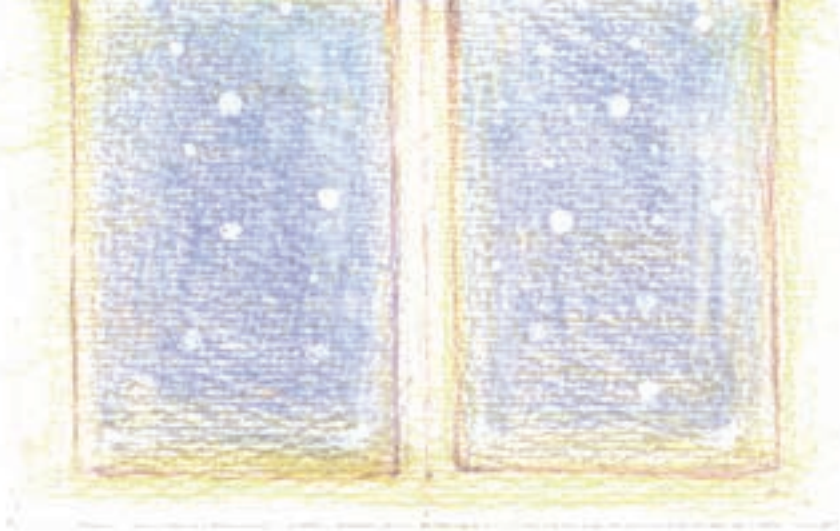
おいしゃさんに　みてもらっても、なおらないんだ。

「あるきたいのに、
あしが　いたくて、
あるけないです」

「ぼくのあし、
なおりますか？」

なんだか　とっても、ねむく　なってきた。
どうやっても、おきあがれないんだ。

ぼくは、みんなと　いっしょに、いたいなぁ。
おしごと　したいなぁ。
おやつ、たべたいなぁ……。



なんだか　ポカポカ、
あたたかく　なってきた。

そらに　ひっぱられる！

わぁーっ！

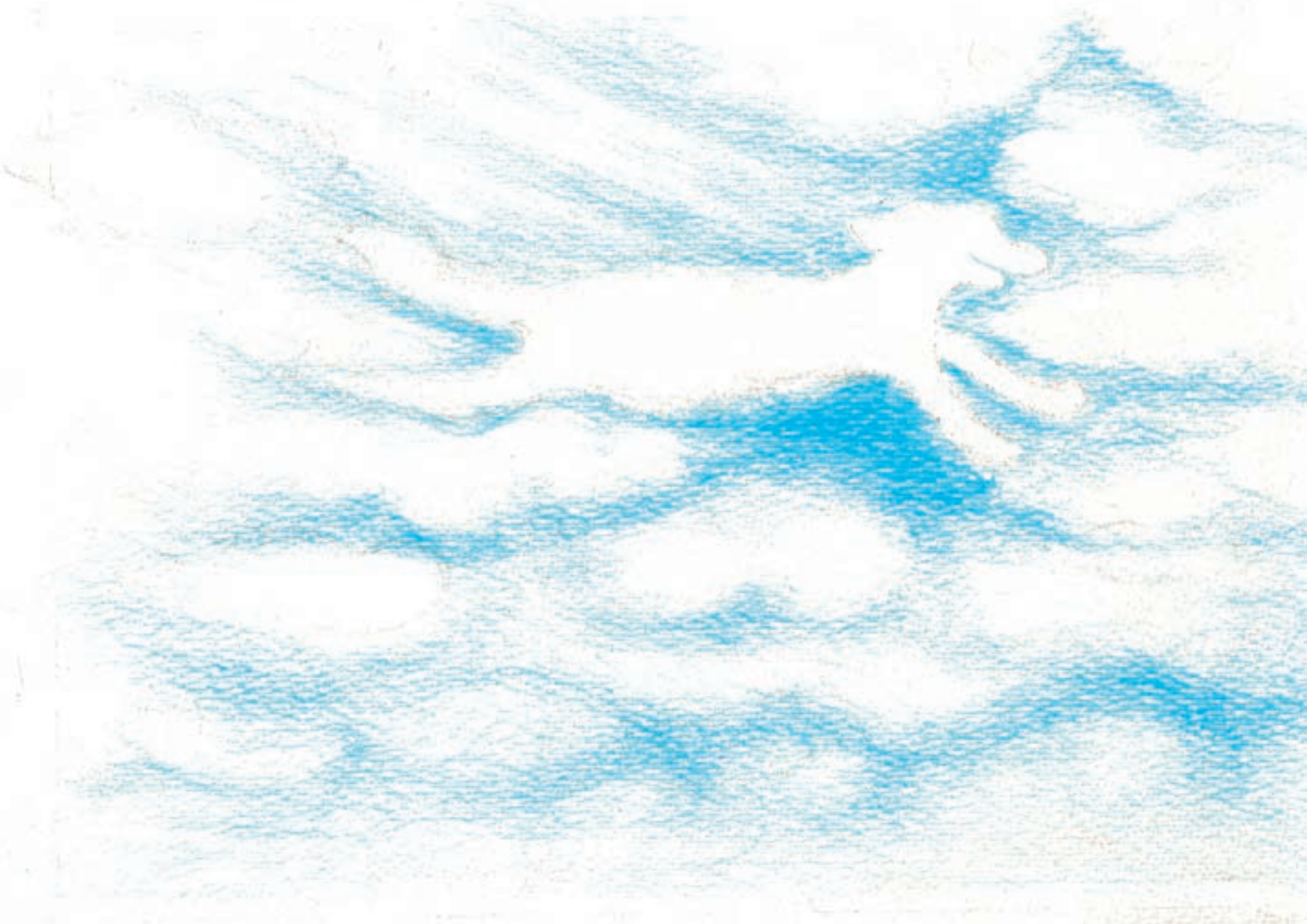
ぼく、はしれるよ！
おとうさん、おかあさん、
ぼく、あしが　いたいの
なおったよ。

みんなが、ぼくを　よんでいる。

「ドルチェ、おはよう」「ドルチェ、またね」「ドルチェ、あいたいよ」

「ドルチェ、おやつだよ」

ドルチェ、ドルチェ、ドルチェ、ドルチェ 、ドルチェ……



いつも、ぼくは　ここにいるよ。

ぼくは、げんきだよ！

あとがき

富良野市社会福祉協議会 ふみちゃんこと、桝竹文浩と申します。

人生は一期一会です。出会いと別れの繰り返しが人生なのだと、ドルチェとの幸せな日々が教えてくれます。ドルチェは富良野市社会福祉協議会のアイドルです。地域の皆さんにお会いすると、「ドルチェ、元気？」と声をかけてくれる方がたくさんいます。ドルチェが亡くなったことを伝えると、とても悲しみ、涙する人もいます。デイサービスセンターいちいの利用者の皆さんにも愛され、亡くなったいまでも、ドルチェの写真に手を合わせてくれる利用者さんがいます。

ドルチェの一生から、命の尊さ、出会いの尊さ、愛することの尊さを感じ取っていただけると幸いです。

さいごに、ドルチェにひとこと、ドルチェ、ありがとう。

文：ふみちゃん

昨年の12月20日、ドルチェが亡くなった日、社会福祉協議会の方から、ドルチェの思い出を子どもたちへの絵本にしたい、と連絡がありました。ドルチェとは、何年か前の「いちい」のお祭りで、一度会ったきりでした。

送っていただいたドルチェの写真の数々には、まるで百面相のように、笑ったり、困ったり、嘆いたり……。どれもが愛おしく、写真を撮った方の、ドルチェへの優しいまなざしがうかがい知れます。どうしたら、この豊かな表情をうまく表現できるか、ドルチェとにらめっこする日々が続きました。

なかなかうまく描けない時も、ドルチェがすぐそばにいるようで、なんだかほんわかと、あたたかい気持ちになりました。そのうち、私もドルチェのことが大好きになりました。

これからも、ドルチェはたくさんの人たちの、心の宝物となって生きつづけるのだと思います。

この絵本を読んでくれた子どもたちも、ドルチェのことが好きになってくれたら嬉しいです。

絵：たなかみよし
（おたのしみ劇場ガウチョス）

発行日　令和４年３月

発　行　社会福祉法人 富良野市社会福祉協議会
富良野市住吉町１－28（地域福祉センターいちい内）
電　話 0167－39－2215

協　力　公益財団法人 北海道盲導犬協会
公益財団法人 九州盲導犬協会
おたのしみ劇場ガウチョス
富良野市内のボランティアのみなさん